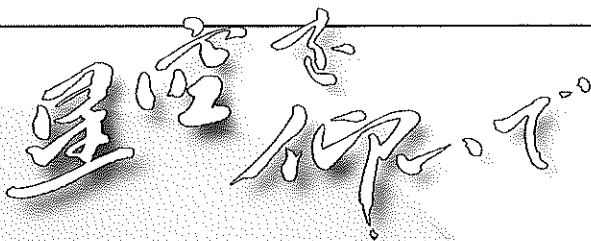


お詫びとご案内

5月17日開催予定の同窓会総会は
 コロナウィルス等、諸事情により開
 催日程を変更いたします。
 会員の皆様方には状況をお察しいた
 だき、ご理解頂けますようよろしく
 お願いいたします。



紅 萌 会 公 報

第43号

令和2年4月12日

天王寺高等学校
 同窓会事務局
 京都市北区上賀茂神山
 240-2 中村 善人 方
 発行人 遠藤清茂
 編集人 山本勝則
 監修 古村成正

今年と同窓会総会は日程を変更して 開催いたします。

10月18日(日) 午後1時より

あべのハルカス「桃谷楼」で開催

ますます活性化する同窓会活動！ 紅萌会の前途に見える明るい兆し



現在の正門 (2020年2月)

久々に今号は明るい話題
 を伝えたい。母校がなくな
 って12年、確かに会員数は
 1400名を割り、同窓会
 そのものの衰退は否定でき
 ないが、それに反比例する
 かのように同窓生の意識、
 同窓会への思いは間違いな
 く高まっている。
 その一つの証が順調な年
 会費・寄付金収入や総会へ
 の参加者増であり、もう一
 つが役員刷新による同窓会
 運営体制の強化である。以
 下、そのそれぞれについて
 紹介したい。

昨年の総会参加者は新記録の63名！

会員数が年々減少するなかにもかわらず、
 会費納入者・寄付者・総会参加者が年々増加

まず、いくつかの数字を
 紹介しよう。2017年の
 会報発送会員数は1546
 名で、そのうち年会費納入
 者は10・9%にあたる16
 8名。寄付をいただいたの
 は77名、総会出席者は39名
 であった。これに対して、
 2019年の会報発送会員
 数は1392名に減少した
 が、年会費納入者は12・2
 %にあたる170名で
 寄付者は79名。総会
 出席者にいたっては、
 外部会場を使用して
 以来の新記録となる
 63名を数えた。

ていかなければ、同窓会運
 営は難しいという事実に変
 わりはない。
 そこで今年の目標として、
 年会費納入者170名、寄
 付者80名を確保したうえで、
 総会参加者65名以上を目指
 したいと考えている。これ
 まで以上のご協力をお願い
 したい。

念願のホームページ 開設を決定！

『紅萌会会報』の編集担当を
 新幹事に引き継ぎ、新たな体制による
 充実した広報活動展開を目指す

この結果、年々減少傾向
 にあった決算上の繰越残高
 が、昨年に限ってはわずか
 ではあるものの増加するこ
 う、うれしい逆転現象が
 起こった。その背景には、
 同窓会をなくしたくない、
 卒業生が存在する限りは存
 続させたいという、同窓生
 の熱い思いがあることはい
 うまでもない。

過去40年にわたって『紅
 萌会会報』の編集を担当し
 てきた、7期の古村成正幹
 事が担当から外れ、今号か
 ら19期の小玉光幹事と、22
 期の山本勝則幹事が担当す
 ることになった。かねてよ
 り古村幹事は、高齢であり
 またマンネリから脱する意
 味もあって、後継者へのパ
 トンタッチを願ってきたが、
 ようやく2名の適任者へ引
 き継ぐこととなった。

もちろん、これをもって
 「同窓会は安泰」というわ
 けではない。今後とも会員
 数が確実に減っていくなか
 少なくとも現在の年会費納
 入者数・寄付者数を維持し

その効果が、早くもホー
 ムページ (HP) の開設と

『紅萌会会報』の編集に関
 しては、直ちにすべてを引
 き継ぐのは無理があるため
 今号も含めて当面は古村幹
 事も手伝いつつ、いずれは
 全面的に新幹事に委ねてい
 く方針だ。その時こそ、充
 実したホームページの完成
 とあいまって、従来にない
 新しい『紅萌会会報』が誕
 生することであろう。
 また、これを機に役員・
 幹事の役割分担を明確化し
 ていく方針である。一人ひ
 とりが任務を全うしていく
 ことによつて、これまで以
 上に同窓会の運営体制を充
 実し、より活性化した活動
 を展開していきたいと考え
 ている。



ご挨拶

紅萌会会長 遠藤 清茂

紅萌会会員の皆様には、
ますますご健勝のこととお
喜び申し上げます。平素は
紅萌会活動にご支援・ご協
力を賜りまして、誠に有難
うございます。

私事で恐縮ですが、昨年
もご報告いたしましたよう
に、私は思わぬ大病に見舞
われ、闘病中のところさら
に転移が見つかり、ピンチ
を迎えております。幸い医
学の力に助けられ、引き続

き執行猶予で保釈中という
状況にありますが、予断を
許されない状況にあること
に変わりはありません。
折しも、昨年暮れに発生
した新型コロナウイルス感
染症は、あつという間に世

界的規模で拡大し、WHO
が非常事態宣言をするに至
りました。体力のある若い
人たちに比べ、高齢者や持
病のある方の危険度がかな
り高いと報道されています。
紅萌会ではいよいよ高齢
化が進み、健康に不安をか
かえておられる会員さんも
少なくないと思われれます。
どうか普段から体調管理に
は十分に留意され、健康維
持に万全を期していただき
たいと願っております。

さて、紅萌会は会報の編
集担当が若返り、ホーム
ページの開設が具体化する
など、広報体制が一新され
ました。会員数の減少は避
けられない現実ですが、た
だ手をこまねいているだけ
でなく、ホームページによ
って新たな会員を掘り起こ
し、活動をさらに活性化す
るなど、今後とも最善を尽
くしていきたくと考えてい
ます。

.....

「紅萌会」第5章の幕開け

人心一新で新たな展望が開けた「母校のない同窓会」

幹事 古村 成正

1979年5月に「紅萌
会々報」第1号を発行して
以来、号を重ねること42号、
編集人「古村成正はついに
傘寿(数え年)を迎えました。
よく続けてこられたもの
だなあと感慨とともに、
紅萌会唯一の広報媒体であ
ったがゆえに、同窓会活動
のプロバガンダ(方向づけ)
を握ってきたことに、改め
てずつしりと重い責任感を
味わっています。

集人が、今号から41年ぶり
に代わることになりました。
これは単に担当者が変わる
というだけではなく、もつ
と大きな意味と意義を持っ
ています。

12年前、母校(天王寺高
校定時制課程)が廃課程に
なると同時に、会長が中村
俊之君から遠藤清茂君へと
バトンタッチされました。
その後、副会長が稲葉貞夫
君から中村善人君に、そし
て今回は広報幹事が古村か

その「紅萌会会報」の編

君から中村善人君に、そし
て今回は広報幹事が古村か

ら小玉光君・山本勝則君に
代わったわけです。
思えば、わが同窓会は過
去4度の大きな変革を経て
きました。

そして今回、②③④の
主要メンバーであった中村
会長・稲葉副会長・古村広
報幹事から、遠藤会長・中
村副会長・小玉&山本広報
幹事への引き継ぎが完了。
幹事への引き継ぎが完了。
幹事への引き継ぎが完了。

待っています。
新体制のチームワークは
上々で、これまでのマンネ
リから脱し、新しい発想で
の活動が展開されるものと
確信しています。あとは会
員諸氏の熱意と協力にかか
っています。今こそ「天定
魂」を呼び起こし、ますま
す価値ある同窓会に育て上
げるため、みんなで盛り立
ていっていただきたいと願
っています。

- ①同窓会発足・1956年
第一期生が卒業と同時に
同窓会を発足。「尚和会」
の名称で活動を展開。
- ②紅萌会誕生・1979年
母校創立30周年を前にし
て有志が結束、「紅萌会」
と改称し再スタート。
- ③会費制導入・1989年
財政難による同窓会存亡
の危機を、年会費制の導
入で乗り越えて存続。
- ④母校の廃校・2008年
同窓生の拠り所である母
校がなくなり、新規会員
加入が望めないなかでの
同窓会運営。

幹事の若返りこそが今後の
同窓会存続のカギである」
ことを強調してきました。
嬉しいことに、早くもその
効果が「ホームページ開設」
という形で実を結ぼうとし
ています。ホームページ開
設によって、住所不明であ
った会員の消息が判明し、
会員増に結びつくことを期

これまでのご支援・ご協
力に感謝するとともに、今
後は新体制に干渉しない範
囲内で同窓会運営に協力し
ていきたいと思っています。
長い間、本当に有難うござ
いました。

その「紅萌会会報」の編

君から中村善人君に、そし
て今回は広報幹事が古村か

君から中村善人君に、そし
て今回は広報幹事が古村か

新幹事ご挨拶

紅萌会総務担当
小玉 光 19期

諸先輩の方々長い間
携わってこられたこの同
窓会(紅萌会)の絆を断
つ事なく後世に繋げて行
くよう努力いたし、また
諸先生方、会員の皆様方
のご協力が有ってこそ、
この紅萌会が発展、維持
出来るという事を肝に命
じ頑張りますので、ご指
導、ご協力の程、宜しく
お願いいたします。

紅萌会広報(新設)担当
山本勝則 22期

今年度から紅萌会の会
報作成及びホームページ
開設、管理担当に抜擢さ
れました山本です。
今迄同様「紅萌会会報」
の品位と格調を落とす事
無く努力しますので、宜
しく願います。

- ※広報をサポートして頂
く会員4名の名前です。
- 浅井いづみ 20期
- 折尾 正代 20期
- 川口 哲生 20期
- 上村禎四郎 21期

以上、宜しく願いた
します。



第65回紅萌会総会報告

幹事 中村俊之

令和最初の総会は63名の出席で大盛況

第65回紅萌会総会は、令和元年5月19日午後1時からあべのハルカス13階「桃谷楼」において令和最初の総会が63名の出席のもと盛大に開催されました。今回は名札を用意して各自で期と氏名を記入してつけていただきました。

学校から岡(元)校長先生、三上先生、東先生、田中秀穂先生の4名が出席され総会に花を添えていただきました。総会は遠藤会長の挨拶に続いて岡先生からご挨拶を頂き議事に入りしました。

まず、平成30年度事業決算報告および令和元年度予算案を審議し、満場一致で承認されました。続いて役員・幹事の選出に移りました。会長に遠藤清茂(22期)、副会長に中村善人(18期)、幹事に古村成正(7期)、中村俊之(10期)、山本眞子(26期)、山崎恭子(27期)の現役6名と、新たに立候補した小玉光(19期)、山本勝則(22期)を加え、全員が満場一致で選任されました。今後は以上の8名で紅萌会運営にあたってまいりますのでよろしくご協力の程お願いいたします。

願いたします。

懇親会に移り、田中先生の乾杯のご発声により始まりました。ちなみ出席者の内訳は先生方4名、2期4名、4期1名、7期5名、10期3名、11・12・14期各1名、16期6名、18期12名、19・20期各1名、21期4名、22期3名、23期1名、24期6名、25・26期各1名、27期7名でした。今回も18期が最多で1テーブルを独占して同期会さながら盛り上っていました。出席のなかった期、とりわけ30期以降の期の出席をお願いいたします。今回は60名を超える出席となりテーブルを増やして部屋も拡大しての開催となりました。各テーブルも期が違っても同窓のよしみということで和気あいあいに楽しいひとときを過ごしていました。特に先生方を囲んで天高時代の昔話に花を咲かせたり、写真をとったりして大いに盛り上っていました。

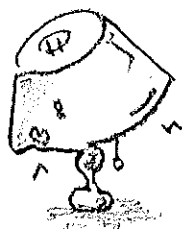
宴もたけなわになり18期の谷田和恵さんに詩吟を吟じていただくことになり、最初に全員で「黒田武士」を歌ってから「名槍日本号」を吟じていただきました。

した。すばらしい声に会場は拍手喝采に包まれました。

また古村幹事から今回の会報発行について「令和」の文字を入れるのに、発表から会報発送まで10日間しかなく大変苦労した旨の報告がありました。

懇親会も終宴に近づき、三上先生と20期の浅井いづみさんのリードにより全員立ち上って校歌を斉唱しました。皆さん天高時代に戻った感じがしました。盛況のうちに閉会の時間を迎え、三上先生のご発声によりお開きの乾杯をして「また来年も会いましょう」の声で散会しました。

◆名札は来年以降も使うので受付で回収させて頂きました。



紅萌会ごぼればなし

紅萌会が楽しかった思い出を語り合おう。

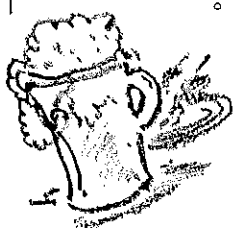
63名もの出席者で大いに盛り上がった昨年の総会を見て、痛感したのが時代の流れ。数年前まで出席者の中心となっていたのは7期・10期・18期、つまり同窓会運営の核となっていた役員・幹事の出身期であった。それが、最近の出席者層は明らかに変化していることが分かる。

18期生の出席が12名と相変わらず多いのは嬉しいことだが、注目すべきは21・27期生で、昨年は27期の7名をはじめ連続的に23名を数えた。また、2期が4名、7期が5名、10期が3名というように、同期生が誘い合って、期ごとに複数で出席しているケースが目立つようになった。

同期生が多ければ多いほど座が盛り上がるし、楽しければ必然的に出席者も多くなる。こうした好循環が続けば、63名どころか70名・80名も決して夢ではない。

残念なのは、28期以降の出席者が一人もなかったことだ。しかも、28期以降の年会費入金者は9名に過ぎない。卒業生数が少ないうえ、年齢的に仕事が忙しい時期にある人が多いとは思いますが、もう少し同窓会に関心を持つてはいいかだろうか。

かつて机を並べて学び、ともに語り合い、肩を並べ星を仰いで帰った仲間との思い出は、今も消えることはないはずだ。今年こそはかつての仲間と誘い合い、同窓会総会に出席していただきたいものである。

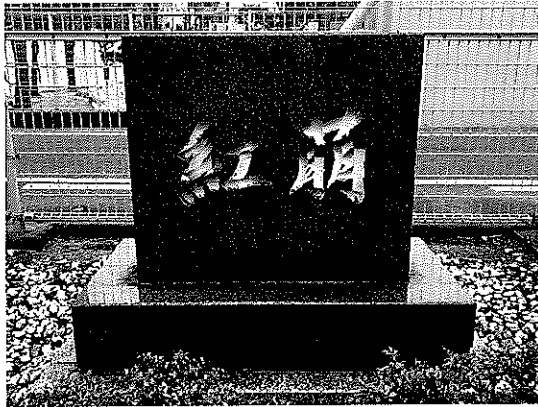


友情のページ

昨年も返信はがきや振込用紙を使って、沢山の声が届きました。恩師をはじめ1期生から52期生まで、実に半世紀以上の年代差を乗り越えて同窓会への、あるいは同期生への熱い思いが伝わってきます。1年遅れになりますが、これからも貴方の近況や同窓会に対する意見など、内容を問わずどしどし投稿されることを願っています。

(順不同・敬称略)

◎は総会に出席された方、
★は返信ハガキのみ送っていただいた方です。



第66回総会のご案内

日時 2020年10月18日(日) 午後1時開会
12時30分受付開始。会場の使用時間が限られているため、早めにご来場ください。

会場 中国料理「桃谷楼」(とうこくろう)
あべのハルカス近鉄本館タワー館
あべのハルカスダイニング13階
TEL.06-6625-2373

参加費 総会参加費 5,000円+
同窓会年会費1,200円=合計6,200円
同封の振込用紙を使って振り込んでください。
この振り込みをもって正式な総会参加申し込みとします。なお、当日不参加の場合、参加費は返金できませんのであらかじめご了承ください。

申込締切日 5月17日(日)

会場準備の都合上、総会参加者は5月17日までに6,200円を振り込んでください。総会に参加されない方も、年会費1,200円の振り込みをお願いします。

また、これらに加えて寄付金の方もよろしくお願いします。なお、総会への出欠にかかわらず、同封のハガキであなたの近況や同期会情報、同窓会運営に対するご意見・ご要望などを記入のうえ返送してください。

※年会費・寄付金を頂いた方々のお名前は、16ページに記載しております。

— プログラム —

総会開会 午後1時

会長挨拶

2019年度事業・決算報告

2020年度予算案提案

役員・幹事選出

総会閉会

懇親会

乾杯・スピーチ・アトラクション

散会 午後3時予定

事務局から

大重先生は、ご加療・静養中にも拘りませず、かつの先生方の近況や動静などの詳しい情報を事務局に提供して下さい、紅蓮会としても大変ありがたく存じています。

大重先生、いつも貴重な情報提供を感謝申し上げます。1日も早くお体全快されますことをお祈り申し上げます。



■旧教員

。人が集まり、会食しながら互いにコミュニケーションする。これは脳の活性化を伴い、気分転換にもなり、さらに健康維持にも寄与します。

。会報の構成は総会の様子、同期会のたより、教職員のたよりの三本立が良いと思います。

。幹事の世代交代が必要です。皆さんとお会いすることを楽しみにしています。

◎東 庸太郎 和泉市

フレンドリーでラフな会の運営に感謝します。

昨年16期の二次会で寄せてもらった居酒屋店長の上春君をはじめ、同志の早逝にショックを受けています(合掌)。

私も1、2年後に放浪・林住して生の意味を考えるべきか、とも。

◎三上敦史 柏原市

はじめての出席です。楽しみです。昭和47年から10年間、理科を担当しました。昭和36年に全日制課程を卒業しましたので11年ぶりでした。実家から歩いて10分の通学、通勤でした。

◎田中秀穂 高槻市

同窓会総会には参加出来ません。皆様よろしくお伝え下さい。

大迫 均 富田林市

平成から令和へ時代が変わりました。

老兵は死なずただ消えゆくのみ、バトンを渡しました。

田中幸昭 宇治市

82日間入院して4月1日に退院。入院中と同じように酸素のチューブをつけたままの生活をしています。どこへ行くのにもチューブをつけて酸素ボンベを引きずっての移動です。徒歩200M程の郵便局へ行って帰るのに45分もかかるありさまです。新聞広告で見たシルバーカーなるものを買うつもりです。要するに、押して歩く荷物入れです。酸素ボンベを入れて、郵便局へ行くつもりです。あとはすべてタクシーです。自動車もバイクも持っていないので、なんとも生活しにくく、難儀しています。82日間も入院して病院の食事がどんなものかうんざりするほどよく分かりました。朝食は食パン1枚、昼も夜もおかゆでした。その中ではどうすいが一番おいしかった。みそ汁は一度もでなかった。退院してラジオで千昌夫の「みそ汁の歌」をきいて妙に興味深く感じました。

酸素ボンベとチューブをつけた写真ができたら送ります。

菊谷利宏先生は数年前に亡くなられました。徳永忠和先生の名が会費納入者に見えないのでお元気なのかどうか気になって

いきましたが、2014年10月に亡くなられたそうです。

中村善人君へ

あなたのように「行政書士」(司法書士)の道を選んだのは35年間(57歳まで)の教員生活であなただけでした。和泉高校の時に海上保安官になった女生徒が2人、これも珍しかった。

大重郁治 岸和田市

会誌いつも楽しく元気を戴きながら拝見しております。80を過ぎ、歩行等々不自由なことは多くなりましたが、まだまだ学びたいことは一杯です。沖繩のこととは日々気にかかり、ウチナンチュウから学ぶこともこれからです。今生きているすべての人が歴史の証人なのです。

佐山和子 三重県

小生、86才。定期的に通院しながらも、大過なくすごしています。

今中啓旦 奈良市

今回もベタンクの大会と重なってしまい参加出来ません。

4月から高校の非常勤講師で週2日頑張っています。皆様によりしくお伝え下さい。

北森雅夫 泉南郡

いつも連絡頂き有難うございます。

宮野恭一 高槻市

同窓会には参加出来ません。皆様よろしくお伝え下さい。

中島眞吉 羽曳野市

★◎隅 毅

旧教職員室から

多田和夫先生の追悼会について



「紅崩会会報」第42号掲載の大重郁治先生とある卒業生の記事を読み衝撃を受けました。お二人とも若くして亡くなった数学担当の多田先生の追悼式を取り上げていますが、この式には多田先生のご両親が出席し挨拶をされたこと述べているからです。この追悼式の司会をしたのは私です。私の記憶では、この会にはご両親は出席されず、遺族として出席し挨拶をされたのは、京都の大学に在学中の弟さんで、シャツも含め、黒ずくめの服装でした。私は長い間記憶違いをしていたのでしょうか。

私は10代から日記をつけ始めて今日に及んでおり、すべて保存してあります。それを調べれば日付が判明し、ご遺族の件もわかるかもしれません。しかし、この日記は押入れの天袋の奥にダンボールに詰めてあります。高齢の身で取り出すのが容易ではなく、すぐには確かめようがありません。

この追悼式については、もう一つ触れておきたい件があります。多田先生は大相撲の横綱(確か当時大関、後の横綱)琴桜関と幼なじみであったと聞いていました。あの追悼式はおりしも大阪場所の開催中でのことでした。私は琴桜関に連絡し、少しの間でも列席していただけないものかとお願しようと思いましたが、もしそれが実現すれば、よい供養になり、生徒も喜ぶだろうと考えたからです。しかし、場所中ではあり、やはり迷惑になるかと、結局断念しました。月日がたつにつれ、校長と相談の上、当ってみるだけでも当ってみるべきだったの思いが募ってきています。出席はかなわなくとも、メッセージを寄せてくれたかもしれません、残念です。その琴桜関も亡くなって10年以上になります。まさに往事茫茫です。

鈴木正夫 三浦市

故多田和夫先生の思い出に事寄せて

18期生 中村善人

多田和夫先生がお亡くなりになられたのは、昭和44年でした。昨年会報42号掲載の大重郁治先生の記事に関連して、今回、鈴木正夫先生も寄稿されました。

当時、そのことに幾ばくか関わった者としていろんな思い出が重なった時期でしたので、多田先生に事寄せて、50余年前の一生徒側の立場で一文付録として認めてみます。

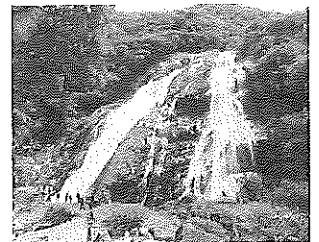
私は当時2年生(と言っても2年遅れて入学)で、担任は数学の中本雄律先生でしたので、数学的多田先生から直接ご指導を受けたことはありませんでした。偶々、私が生徒会長をしていた時期で(副会長は紅崩会の前幹事の稲葉貞夫君でした)、多田先生が生徒会顧問をされていらしたと思います。そんな関係で、鳥取県の倉吉まで在校生を代表してお葬式に参列致しました(亡くなられた徳永先生のお供として同行)。その後、学校で追悼会が行われました。お葬式が追悼式のいずれかで、生徒代表の弔事か追悼文を読み上げた事実があります。その濃厚なお人柄とお顔が今でも鮮明に浮かんできます。

多感な年齢に、両祖父の死を

身近に経験した時期で、若い多田先生の死には衝撃を受けました。その時代背景は70年安保の学生運動が全国展開の真つ最中

(昭和25年生まれの我々トヲ組の東大入試中止が昭和44年)でした。当時私は本屋に勤務して毎日大阪南部の大学や高校、図書館に納品していて、各大学から過激派学生が侵入という知らせで、新刊専門書の引き上げにしょっちゅう駆り出され、時代のおねりのど真ん中に居ました。鹿兒島の屋久島という原始的な田舎から大都会に出て来た私にとつて、目まぐるしい時期でした。自分の人生設計を志向するこの時期に同世代の社会参加の言動には少なからず刺激を受けました。社会の問題と個人の生き様の問題が同時に私を襲い、悶々とした日々を送っていました。多田先生のお人柄と対比しても、生徒会長をしている自分が何らかの反対給付を期待しての偽善的な人間に思え、自己嫌悪、自己否定の日々でした。自殺に関する本を読み漁りながら「自殺は人間に残された最後の自由」という誘惑と格闘していました。

丁度その辺り、国語の大重郁治先生の授業で芥川龍之介の



「羅生門」の感想文の課題が出され、「外には、唯、黒洞々たる夜があるばかりで下人の行方は、誰も知らない」という最後の文章を引き合いに出して、若い芥川龍之介も人生を確信できなかった。だから、「漠然たる不安」を抱えて自殺したのだと書いて提出したところ、大重先生から職員室に呼び出されて、「これは問題だ」とお叱りを受けた?ものの何が問題かは教えてくれなかった。今日に至るも未だに解は不明ながら、その事実だけは鮮明に記憶しています。(大重先生、問題児の私の事、今ではもう覚えていらっしやらないでしょうね)

さらには、校長室に校長代理の加藤主事に呼び出されました。何をしでかしたのかあれこれ詮索するも思い浮かばないまま暫くじっと目を見つめてみると、いきなり「中村君、死ぬなよ」と言われ、もう時効だと思われませんが、加藤先生が上着をたくし上げてお腹の傷跡を見せて戴きました。「僕も早稲田の学生

時代に経験して未遂に終わった」と真摯に教えて下さいました。意味を掴みかねていると、どうやら私の憔悴ぶりが、どうも危ないとの危惧を与えたようで、最初は、職場の経営者がそれに気づき、学校にも連絡して来たようでした。その時の私は、哲学書と宗教書を、知半解で貪っていたのです。哲学の先に宗教があるのか、宗教の先に哲学があるのか悶々としていました。

(今なら「信ずる者は宗教に向かい、疑う者は哲学に向かう」と言えるかもしれません)。「その辺りでは、「死ぬのは取り返しのつかない失敗」位に快復してしましたから「私は死にません」ときっぱり答えたのを覚えています。そして哲学分野に進もうと決めていました。

ところがその後、丁度運よく3年生の担任は京大の哲学科出身の英語の中本誠郎先生でした。このことをぶつけてみたら、老教諭は暫く宙を見上げてから、「中村君、哲学には二通りあって、純粋哲学と哲学史の研究だ。前者は世界で100年に一人か二人の天才だけだ。哲学者と言われる殆どが哲学史の研究者即ち先哲の解釈者なんだよ」と諭され、これに妙に納得しました。漸くここから吹っ切れて、聖俗矛盾だらけの人間を真正面から見据えたいと、回り道してでも「文学」の道に進もうと決心

したのでした。爾来、40年余り司法書士をやりながら、16年間京都家庭裁判所で離婚調停と遺産分割調停の役務を熟し、人間の業の何たるかを見つめて来ました。今日まで続く私の長い回り道と活字中毒の原点が天定時代に始まったのは紛れもない事実です。改めて、人間の価値観の根幹は青春時代に出来上がり、後は枝葉をつけて来ただけというのが実感で判ります。多田先生の死という個人的問題、生徒会活動という公的問題、さらには戦争責任を問われた「日本及び日本人」という大きな社会的問題を、「私と公」の関係で位置づけて呻吟してきました。

当時の副会長時代から変わることなく「大欲は無欲に似たり」を地で行く稲葉君には心身ともに随分助けられました。その彼が、公務員の傍ら、幹事として紅崩会を何十年も支えてくれました。その稲葉君と多田先生始め「天定」という学校に恩返しを誓って、紅崩会の「公」の役目のひとかけらを引き継いで、70歳を迎えようとしています。



■1期生

令和の時代が幕を開け、我等の同窓会も発足以来65年目を迎えることになりました。1期生として創設以来同窓会と同時代を生きてきた者にとつては、感慨も一入であります。会報第42号の同期会日より、1期生の高橋孝弘さんのお便りを拝見、文面には在学時代と変わらぬ真面目で責任感の強い人柄がよく表れていて、懐かしさに浸りました。1期生の皆さん、同期会にこだわらず、ぜひ一度会報に便りを寄せてください。

牛丸 剛 大和郡山市

65回総会を欠席させて頂きませぬ。ご盛会をお祈りいたします。

中島眞吉 羽曳野市

★高橋孝弘

■2期生

会長様、役員の皆様方お世話になります。元気にしておりますので、出席致します。よろしくお願致します。

◎中川ヨシ子 河内長野市

紅蘭会会長、幹事の方々、永年に渡り煩雑なお仕事、感服致しております。小生八十峠を越し、今、高校時代を顧みる時、一番苦しく、又一番楽しく、夢あり無限に未来が有る好きな時代でした。

会長、幹事の方々のお陰で、又懐しい青春時代が一瞬、かえる時を楽しみにして、出席させて頂きます。

◎大寺喜八郎 大阪市西成区

★◎壘村徳也 ◎平野鈴江

■3期生

お世話をして下さっている事務局の方々には頭が下ります。妻の認知症が「要介護5」にまで進み、昨年末に特別養護老人ホームに入りました。私は、2月に左側顔面に帯状疱疹の症状が出て、現在も治療中です。今年も総会は欠席させて頂きませぬのでよろしくお願致します。

安田壽夫 宝塚市

この10数年、小西君と共に出席していましたが、元気なつもりでも寄る年波には勝てず、足がすつかり弱つて、電車等の乗降に不安を感じるようになりました。会報で同期の石田博之君、坂本孝夫君が亡くなられたことを知り大変寂しく思っています。

吉田万弥(小西辰郎)住吉区

「歩けない」ということがこんなに不便な...と日々思いながら暮しています。同窓会へ出席できないことは残念です。どうか楽しいひとときをお過ごし下さい。

山口淳子 神戸市

★小林明美

■4期生

令和元年という節目であり、出席したいと思えます。

幹事さんへ一つお願いがあります。御多忙と思いますが、名札をご用意くだされば、話の糸口になるのではと考えますが「第何期、姓」だけの簡単なもので結構かと思えますが。

◎菅原 博 茨木市

■6期生

人工股関節手術のため、市大に36日間入院しておりました。令和元年は病院で迎えました。あと10年がんばります。(整形は股関節だよ、顔ちやうで)

坂本一枝 平野区

働きながら定時制で学び、学びながら健康を守る事を覚え、80才迄健康寿命で生きて来た事を幸と感じている毎日です。紅蘭会報をいつもお世話下さっておられる方に感謝しております。楽しみにしています。

永田満江 生野区

大野学級では2年に1度同窓会をしていましたが、今回は1年遅れて3年に1度の同窓会になりそうです。同窓会は幹事役のお世話無しでは成り立たないので、紅蘭会も幹事の方のお世話が大変ですが、続けられる限り

よろしくお願致します。会報読むのを楽しみにしています。

香中清起子 生野区

①初心が消えかかるのを暮らしのせいにするな。そもそもがひよわな志にすぎなかった。(ある新聞から) ②高校、大学で学ばなかった電気磁気学を定年後、こんにちまで学習してきた。(時代は学びやすい時代だ) ③これまでの人生は雑草のごとく生きてきた。余生は自分だけの花を咲かせるべく努力したい。

梶原文明 長崎県

いつも会報を送って頂きまして有難うございます。お世話下さっている皆様に感謝申し上げます。昨年暮より体調が悪かったのですが今年3月5日夜緊急入院を致しました。点滴と輸血により命拾い致しました。一カ月の入院でも完治致しませんが今後は体力の回復に励みたいと思えます。そして元号も令和になり、もう少し新しい時代を生きたいと願っている今日此頃です。

佐々木紀代子 阿倍野区

★寺田直三郎 赤川美津子

■7期生

相変わらず、パートで会社経営を手伝っています。今月は締切ですが今年も何とか出席出来そ

うです。

東京在住の娘家族の帰省で少々バテ気味ですが、まだ何とか元気です。あと少し頑張ろうかと思っています。お世話下さる方に感謝して出かけます。よろしく。

◎植田初世 交野市

久しぶりの出席です。新しい紀代「令和」とんな時代に成るのでしょうか。同志の皆様への思いはどうなのだろうか。元気で死ぬ迄生きよう。

◎朝陽高吉 神戸市

一休中の低音(バス)の響き。昨秋よりマンシヨンの大規模改修工事のお役を申し付かり、崑寿の当り年と受けとめ、目下奮闘中であります。

◎森村不二子 大阪市

御連絡いただき有難うございます。先日、7期の同期会があります。先日、7期の同期会がありなつかしい皆様との再会を楽しみました。今年も総会出席と思っておりますが、当日語り部サービスが重なりましたので欠席します。会費振込みました。私は今「なにわ語り部の会」に所属し、昔話や童話を語るボランティアをしています。様々な場所で「おはなし」を語っています。おはなしを覚え、語ることで、自分自身の楽しさと元氣

をもらっているように思います。ずっと続けていくつもりです。

若狭節子 天王寺区



せて頂く事に致しました。幹事様には、色々御世話おかけ致しますが、どうぞ宜しくお願ひします。

◎吉岡敬子(旧姓 梶谷) 四條畷市

当日、御世話になります。よろしくお願ひします。

◎山上王世 生駒市

毎年会報ありがとうございます。現在元気に暮らしています。皆様も元気にすごして下さいませようおねがいします。

丸木金勝 堺市

★巴本 綾 宮本隆三

■11期生

★◎鳥袋征士

■12期生

昨年10月に硬膜下血腫(脳内出血)による手術で初めて入院しました。見つかるのが早かったので、後遺症もほとんどなくなり、年も感じていません。

西村唯弘 八尾市

何時も何時もありがとうございます。これからも頑張つて下さい。

阿部 博 岩手県

5月19日は道場の総会のため参加出来ません。お世話、あり



がとうございます。

蒲原千鶴子 堺市

★石橋千加子

■13期生

いつも会報を送付していただきありがとうございます。

川上勝晴 岸和田市

車椅子生活になってしまったため出席出来ません。

岡田律子 鳥取市

介護の為出席出来ません。申し訳有りません。

大森一雄 八尾市

会報を読み、現在同窓会員数が1400名になり、毎年減少し、又、高齢化していく中で存続の困難さを感じました。役員の皆様のご苦勞に感謝しつつ、1年でも長くこの紅薊会が続く事を願っています。私自身は趣味を楽しみ今年7月には白馬へ登ろうと計画しています。

喜多俊子 東住吉区

会費と残金は寄付させて頂きます。

三井郁子 平野区

■14期生

いつもお世話になりありがとうございます。今後もよろしくお願ひします。

杉山可一 堺市

いつもお世話になりありがとうございます。出席できず申し訳ありません。

木下美佐子 堺市

幹事の皆様いつもありがとうございます。今年こそは出展させていただきます。会報嬉しくいつものように隅々まで楽しみました。令和最初の総会出席したかったのですが調整できませんでした。出欠の返信が遅くなりましたこととお詫び申し上げます。

吉田千鶴子 堺市

いつも会報を送って頂き有難うございます。総会には出席出来ませんが皆々様の御苦勞を痛感しながら会報が届くのを心待ちしております。

大部徳子 神戸市

欠席します。申し訳有りませ

大江道子 大東市

★中村ひろみ

■15期生

高校1年生の時から5人仲間は55年間続いています。15期生の幹事になり、多くの15期生が

参加出来る会に発展するよう努力します。5月21日に行政書士申請取次事務研修会を受講しますので当日は勉強中です。幹事様の健康・長寿を祈念します。幹事さん御苦勞様です。お身体を大切にして下さい。

江口 繁 堺市

紅薊会会報毎年有難うございます。役員の方々いつもお世話様です。今年こそは出展させて頂こうと思っていたのですが、1月末に義妹が亡くなり、続いて義母も3月末に亡くなり、続いた。後片付けや満中陰の段取り等で忙がしくしておりますので欠席させて頂きます。昨年は15期生の同窓会を開いて頂きました。賑やかな楽しい時間を過ごさせて頂きました。

岡本ひとみ 平野区

紅薊会会報を毎年編集、発行、郵送して頂き本当にありがとうございます。第42号の一面に「高齢者が実務につくのは限界がある」との記事に心が痛みます。そんな私も70才。どうかどうか30期以降の若い年代の方々に同窓会運営への御協力を御願ひしたいと思ひますが、如何でしょうか。何卒宜しく御願ひ申し上げます。

前川 米 兵庫県

■8期生
★浜野弘美 佐柳正吉

■9期生
いつも会報を送付いただきありがとうございます。9期はあまり同窓会を大切に思っていないようで、消息も不明です。赤松さんとは連絡先が分り、また情報交換したいと思っておりますが、高齢になり行動が伴いません。会費は送金させて頂きませすのでよろしくお願ひします。

久山多代子 京都市

★赤松泰雄

■10期生

10期のもう一人の人と出席さ

■16期生

いつも会報ありがとうございます。いつもお世話です。

お世話さまです。出席させていただきます。

◎森本登茂子 大阪市平野区

いつも会報ありがとうございます。今年も同窓会に出席できません。久しぶりの友とのひととき楽しみます。

◎吉本摩佐子 四條畷市

今回何十年か振りに出席させていただきます。とても楽しみです。

◎矢田博道 生駒市

今年もご案内ありがとうございます。世話役の方々に感謝しています。

◎林美恵子 大阪市東住吉区

中村善人様はじめ紅萌会役員の皆様には総会の成功に向けて努力いただいておりますことに対し心より感謝申し上げます。

さて、今般第65回総会の御案内をいただきましたが、小生、昨年夏に体調を崩し、入院・検査の結果「食道ガン・ステージ4」余命半年〜1年の診断が出ました。120日余りの入院で放射線治療・抗ガン剤投与を続け、現在小康状態です。食道が塞がれ水一滴も胃へ通らず24時間点滴につながれ、その上2月には前立腺ガンも発見され歩行

も思うにまかせぬ現状でございます。その為今回の総会は欠席させていただきます。誠に致しました(残念無念です)。

妻万喜より振込送金をさせておられますが一人分の会費を送金した様ですので、取り急ぎ(封書で失礼ですが)はがきともう一人分の会費とカンパを同封致しましたので御査収下さい。総会の大成功を祈念しながら……

向井克信 大和高田市

★◎脇 豊茂 向井万喜

18期生

会報ありがとうございます、今年も出席させていただきます。二次会楽しみしています。

◎堀口文一郎 羽曳野市

紅萌会会報ありがとうございます



ます。例年通りいつもの顔触れに会えるのが楽しみです。

◎大西吉雄 富田林市

昨年同様、西成区で仕事を続けています。

総会は町会の事業の関係で参加できないかもしれせん。ご盛會を祈念します。

★稲葉貞夫 大阪市住之江区

今年も宜しくお願ひします。役員の皆様、ご苦勞様です。

◎細川正敏 奈良県

いつもお世話になり、ありがとうございます。今年も参加させていただきます。

皆様にお会いできることを楽しみにしております。

よろしく!! Jun

◎神村順子 大阪市東住吉区

会報ありがとうございます。

北海道や沖縄にお住まいの同級生を訪ねて、楽しい旅行をさせて頂き、同級生って本当に良いもんだなあと感謝しています。残念な事もありまして、春本ハルヨさん(中村)は、平成30年12月にお亡くなりになりました。

11月に大山妙子さん(井口)と二人で鳥原市まで見舞に行き思い出話が出来たのですが、残念でなりません。

一期一会をかみしめた事でした。

◎坂本つよみ(旧姓 松野) 三重県

役員の皆様、いつもお世話になっております。感謝!!

信雄は入院中です、長期になります。私は鹿児島に家を借り修業しています。

70にして発つ、喜びも悲しみもありますが、周りの人や物、勿論自分自身も大切に、ゴールの日まで頑張ります。思いやりと信頼が絆の令和でありますように。

◎谷田和恵 堺市

毎年、会報を送って頂きまして有難うございます。役員の皆様のご苦勞が目につかびます。感謝しかありません。

久し振りに出席させていただきます。

◎大西きみ子 大阪市浪速区

毎年の事ながら役員様等ご苦勞さまです。昨年3月に松野さんと沖縄に行き、東江さんの過分なるおもてなしと案内で、楽しい旅が出来ました。平日にも拘らず那覇空港は入出で混雑しており、観光都市を実感した。

これではGW時には身動きも取れぬ状態になるのでと要らぬ心配をも。反面、平和記念公園

上空すらも爆音を轟かせ引つ切り無しに行き来する米軍機を目の当りに、難しい米軍基地問題を再考せざるを得ない現実を見た旅でもあった。東江さんにはお世話になり有り難うございました。

清水賢二 徳島県

いつもお世話様に成り有難う御座居ます。今年も残念乍ら同窓会に参加出来ません。皆様のご健康とご多幸をお祈り致します。いつまでも「紅萌会」が存続します様に!!

岡村まゆみ 羽曳野市

今年も会報が届き「会員数ますます減少」にさみしさを覚えながらも妙案もなく…すみません。その中で「毎年のことながら最も出席多数18期」の報告に嬉しくなりました。2年前の同期会がきっかけで天高時代のメル友ができて親交が続いていることも嬉しいです。会報で大重先生の近況を知りなつかしく先生の授業を思い出しております。先生お元気で今度18期の同期会でお会いしましょう。(3年後の予定)

仲西三枝子 沖繩県

いつもありがとうございます。65回総会に出席させていただきます。

◎吉田由紀子 京都府

お返事が遅くなり申し訳ございません。仕事の都合で欠席させて頂きます。皆様によりしくお伝え下さい。

岡崎しのぶ 和歌山県

大重先生の記事、なつかしく読ませて頂きました。小部屋の職員室の壁に崎津天主堂(天草)のポスターが貼ってあったのを思い出しました。

浦崎信子 熊本県

同窓会事務局 中村善人様
会報受取ました。御苦勞様です。よく覚えております。同級生の中でもひとときわ異彩とリーダーシップを発揮されてましたので、転勤、転居を繰り返されたので小学校〜大学まで、同窓会同期会とは縁なく暮らしてあります。会報に同封のメモを見て、自分が18期生と知った次第です。家が貧しかったので兄弟揃って高校は天王寺高校(定)です。兄の同級生が中村さんで、同業者でもありました、その兄も2年半前、ガンで亡くなり、病院見舞いお通夜・葬儀・納骨までつき合ってくれ、3回忌には、墓参りもしてくれる兄の親友です。卒業して早や47年経つ事も改めて思い出しました。当時の同級生の消息は気になる所です。卒業後勤めた会社を6年前定年退職以後無職、32才で結

婚、娘2人、2年半前に結婚の長女に来月2人目出産予定の孫が生れる予定です。海外生産の次女は、28才の未婚で1番の気がかりです。締め切り過ぎている様ですので、次回参加検討します。費用振込手配します。連絡感謝です。取り急ぎ要件、連絡まで。

河本元弘 北葛城郡

★◎上門良子 ◎芳中則子

■19期生

返信遅くなり申し訳ありません。またいつもお世話して下さい、ありがとうございます。今年こそ出席したいと思っておりましたが、私用のため行けなくなりました。19期生の旧姓清水と申します。定年退職しても、親・孫のことでふりまわされ暇なしです。

柳楽清子 羽曳野市

なつかしい先生がたの思い出をみて驚きました。お世話になった大重先生の名前を見つけたからです。在校中は陸上部、卒業後はお願ひして仲人もしてもらいました。あれから45年、いつの間にか連絡もなくなり申し訳ありません。原稿の執筆時は入院中の様子ですがその後はいかがですか。お名前を拝見しただけであの若かりし日の日々が思い出されました。今は老々

介護の日々ですが元氣のた紅萌会会報でした。ありがとうございます。先生へお伝え下さい。子供3人授かりその子達も家を離れ現在孫3人のおばあちゃんですって。

伊名岡百合子 堺市

出席する予定でしたが、防犯の研修会と重なりました。残念です。

山坂成司 松原市



■20期生

2019・4・7(日)「がんご寿司ルシアス15階」で20期生の同窓会をしました。今年を選挙の日と重なり10名の参加で少なかつたですが、宮本文子さんが来てくれました。

先生は三上先生、松本圭司先

生、田中秀穂先生でした。楽しかったです。来年も4月第1日曜の予定です。皆さん来てくださいね。

◎浅井いづみ 大阪市住吉区

■21期生

紅萌会会報第42号ありがとうございます。楽しみに読ませて頂き、懐しく思う事ができました。事務局の方々のお世話に感謝申し上げます。

◎馬場伊勢子 東大阪市

同窓会の準備をされている皆様、有難うございます。

◎井藤一夫 和泉市



役員の皆様、会報はいつも楽しく読ませてもらってます。大変な作業と思います。本当にありがとうございます。年会費は取めますが同窓会総会は欠席させてもらいます。少しですみませんがカンパです。頑張ってください。

野田さよ子 富田林市

会報で同期の参加者の写真を拝見して、お会いしたい気持ちでいっぱいになりました。事前に誘い合いながら多くの人と再会できたらもつとすばらしい同窓会になると思います。21期生みんな参加しましょう、との思いとはうらはら今回も参加できません。すみません。

寺本順子 福岡県

毎年、いつもお忙しいところ同窓会のご案内ありがとうございます。私も高齢になり、只今孫育て中です。私達にとっては「紅萌会会報」が不可欠です。ホームページを立ち上げる準備をしてもらえますが、これを検索できる会員とできない会員の状況を把握の上で一日も早く改善の方向で進めていただきたいと思います。よろしくお願ひ致します。

大塚真知子 和泉市

★◎上村禎四郎 福田ちどり

■22期生

さて皆さん、とうとう令和時代に突入します。ああ懐かしや昭和平成世代
今や昔 波乱万丈に通り過ぎました。

俺達これから余生を向えるなかで紅萌会の続く限り楽しく、面白くかつ忍び寄る病魔をも乗り越えて、ありし日の思いに帰ろうやん。きつと病魔をも退散させるで。(俺の事)

22期生のみんな連絡待つてるで!!
同期会をー。

◎遠藤清茂 羽曳野市

「継続は力なり」紅萌会会報ありがとうございます。廊下の風景を懐かしく感じていました。

◎木村 勝 枚方市

甥の結婚式に出席しますので欠席します。旧交温まるよき会となりますように!

木戸商沢 東大阪市

★堀上礼子 堀内年子

■23期生

いつも会報を送って下さり、有難うございます。卒業してから40年以上となりますが、辛かった事、悔しかった事、楽しかった事など天定での思い出は僕の心の中で永遠です。

今年久しぶりに総会に出席

させて頂けます。できましたら同期の方々とお話ができればと思っています。

◎和田幸生 大阪市平野区

★山中未勝

■24期生

24期生5人で参加します。

◎堀田佳弘 藤井寺市

今年堀田くんの発案で24期生から5人が参加予定です。

会報でも呼びかけてくれたるので、同期生から何人集まるか楽しみにしています。

◎寺田伊佐緒 富田林市

同期生の誘いもあり、出席することにしました。40年ぶりの再会です。

楽しみにしています。

◎道井美紀子 八尾市

★◎山口葉子◎坂野正和・正典

■25期生

卒業以来の初参加します!

24期卒業の山口さんに誘われて参加する事にしました。

24期生のテーブルで同席希望致します。

◎竹岡敬子(旧姓 服部)

八尾市

欠席致します。すみません、都合が付きません。

山口玉枝 石川県

■26期生

★山本眞子 北垣外かよ子

■27期生

役員・幹事さん、いつもお世話になりありがとうございます。今回初めて参加します。27期生の皆さんにお会いするのを楽しみにしています。瀬戸さん、山下さんが種をまいた27期生同期会楽しかったです。同期会成長半ばですが花を咲かせるまで、瀬戸さん、山下さん、同期会お世話よろしく願います。

◎西崎正一 大阪市平野区

皆様の元気な顔を見るのを楽しみにしております。

◎山崎恭子 東大阪市

いつもお世話様です。

◎山下貴子 大阪市東住吉区

紅萌会送っていただき有りがとうございます。うれしいです。楽しく読んでいます。ほんとうに一度会いたいですね。みんなお元気ですか、細川さんお変わりありませんか、時間があれば会いたいですね。一度来て下さいね。

大塚柳子 生野区

★◎石本桂子

★川田光夫

■41期生

★多田栄二 柳内義憲

■47期生

ジストニアの手術が秋に予定されています。かならずお申し込み。ごせいこうおいのりいたします。

廣澤大介 住之江区

■49期生

いつも紅萌会会報を送っていただきありがとうございます。

井本真希 兵庫県

★山下加奈子

■52期生

病氣入院の為欠席させて頂きます。

大西弘彦 天王寺区

★吉本 武



■30期生

住所が変わりました。変更よろしく願います。

笹原弘子 松原市

★中島成和

■32期生

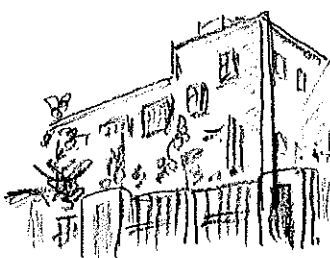
出席しなかったのですが仕事のシフトが日曜日が全部出勤となり平日しか休みがありません。これからは継続して下さい。この度は招待状をお送りいただきありがとうございます。

西岡 晃 東住吉区

■33期生

参加はできませんが、いつもこの紅萌会のお便りを楽しみしています。

池崎照子 東住吉区





同期会 だより

春です。どの学校でも多くの新入生を迎える季節となりました。そして、わが『紅萌会会報』にも、幅広い卒業期の皆さんからうれしい便りが届きました。同期会を開催された期の方、同期会開催を呼びかける方、個人情報伝えていただいた方、さまざまな情報が寄せられました。内容にルールも制約ありませんので、来年はぜひあなたの声を届けてください。なお、見出しは編集人がつけさせてもらいました。悪しからずご了承ください。

同期会の世話役をされている方は「返信用はがき」にその旨記載して下さい

4期

人生の基礎は天王寺高校の4年間にあった。

天定の4年間をかえりみて
昭和29年の入学時はまだ15歳の少年でした。
4年間に先生方やクラス仲間
に教えられ鍛えていただいたおかげで昭和33年になんとか卒業することができました。
4年生の秋、隣席のJ君の助言で府庁の職員募集に応募した

結果採用され、以来平成8年末に勇退するまで38年あまり勤めることとなりました。同期の人たちは卒業後も賀詞交換のほか、有志の方々による同期会ではしばしば会う機会もありました。なお、O君及びN君とは山歩きの先達として、あるいは酒の師匠として今も親しくしてもらっ

ています。

一方、家庭生活では昭和42年に職場結婚をし、平成29年に金婚記念を迎え現在に至っています。

このように、思い返せば私の人生の基礎は天王寺高校の4年間にあったと感じており、感謝の気持ちで一杯です。
(連絡先) 電話・FAX
072-627-1683

4期生 菅原 博

5期 ボランティア 活動中です。

私は五期生の松田寿子(旧和田寿子)ですが、地域でのボランティアなどで元気にしております。

5期生 松田 寿子

写真を送ってください！

同期会の輪をさらに大きく広げたいと思っています。そこでお願いです。同期会を開いた、久しぶりに同期生と会って楽しいひとときを過ごした、同期生に私の近況を知らせたい、という方はぜひ写真を送ってください。楽しい写真の掲載で、『同期会だより』の欄をもっと充実したものにしましょう！

7期 老いてなお 天定語れる 友がいる。

70歳の半ばから80歳という年齢に憧れるようになった。もう手を伸ばせば届くところまで来ている。「身なり」「行動」「話し方」「加齢臭」に気を配り乍ら「還暦少年」ならぬ「傘寿青年」を目指しているところです。

そろそろ7期生の傘寿記念会を計画する頃になった。高齢となつてからの同窓(期)会は名刺を交換したり肩書を披露する必要はなく、高校時代を懐かしみ、君付けで呼び合い、旧交を温め、お互いの健在を喜び合うのが趣旨だと思っている。どう過しているのか近況を語り合い、実践している健康作りや終活の話題も楽しく参考になる。名簿に過去の記載が多くなった。昔話に花を咲かせ共に老後を過ごすことを楽しみにしていた仲間の喪失は無念で辛いが冥福を祈るしかない。

令和2年度中には、ひよつとすると最後になるかも知れない同期会を開きたいと考えている。紅萌会会報44号で楽しかった報告ができることを願います。
“老いてなお 天定語れる
友がいる”

7期生 尾崎 充賢

9期 専門分野の 知識を 生かして。

昭和37年3月に卒業をしてから早や58年が過ぎてしまいました。

花の「高校3年生?いや4年生」だった私も喜寿を迎え、足腰の関節の痛みに耐え、食事並みの量?の薬を飲み、骨粗鬆症の妻の介護に悩み、土業に励んでいます。ちなみに、専門分野の知識を生かして、リニア中央新幹線の推進審議委員会の委員をしています。名古屋駅までの開通予定が当初の計画より1年以上の遅れが生じ、2028年となつています。しかも、追加審議事項として、北梅田から難波を経由して関西空港までを、全て地下でもって直結させる計画で、2029年の開通を目指している案件です。その委員会の席で時々思うのは、開通まで「生」があるんだろうかなあです。審議事項の問題よりも、そっちの方が気にかかり、委員会からお叱りを受けかねない心境です。しかしながら、この老齢でもつて、少しばかり社会に寄与している誉もあり、腰をさすりながら、知恵を絞って出席しております。

9期生 赤松 泰雄

10期

総会に便乗して10期会を開催しよう。

10期会を今年10月の紅萌会総会に便乗して開催します。

10期会の皆さんお元気ですか。平成26年に10期会が開催されたから長い間開催されておられません。そこで有志が相談して今年の紅萌会総会に便乗して10期会を開催しようという事になりました。10名以上出席すればテーブルを独占して10期会として開催ができます。

そこで今後の10期会について相談したいと思っておりますのでたくさんのご出席をお願いいたします。

開催日時会場は総会と同じですが念の為案内いたします。

日時 令和2年10月18日(日) 午後 1時開会 12時30分 受付開始

会場 中国料理

「桃合楼」(とうごくらう)

あべのハルカス

近鉄本館タワー館

あべのハルカスデザイン

グ13階

(エレベーターよりエスカレーターの方が便利です)

TEL 06-6625-1237 3

費用 5000円

プラス同窓会年会費

1200円

計6200円

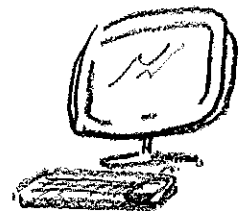
同封の振込用紙を使って振り込んでください。

10期会 有志一同

13期

時々街の空気が吸いたくて。

全体に呼びかけて集いを呼びたいものです。



四季の移ろいに想いを馳せて還暦を過ぎて、何にもしたく無くて離島暮らし始めます。大阪の友等が尋ねてきたり(北海道からも)関西で知り合っていて可笑しくない人達が既に帰っていたり、移住して来たり。

月二回の卓球の練習、年一回の大会(参加賞が伊勢海老一匹)

晴れた日には海に出て糸を垂らし、時々お刺身(シマアジやメジナ等)を持ち帰ります。その間、地元の人たちと話すのは楽しいもんです。輪の広がり、は夢の膨らみでもあります。

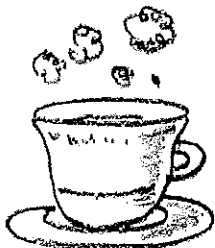
古稀を迎えて月二回のミニコンコースでのゴルフコンペ、その合間の練習フウンド、それらの成績に飲み会の始まりです。

それでも時々街の空気が吸いたくて……今年(二〇二〇)も二月四日戻ってきて、又五月二

一日には大阪行きます。其の度に何人かの同期の友等と集まるのですが、ぼつぼつと知らせの届くこの頃です。残りを思うとそろそろ全体に呼びかけて集いを持ちたいものです。

屋久島から

13期生 品川 博文



14期

高等な体育を学んだと今思う。

今思う。

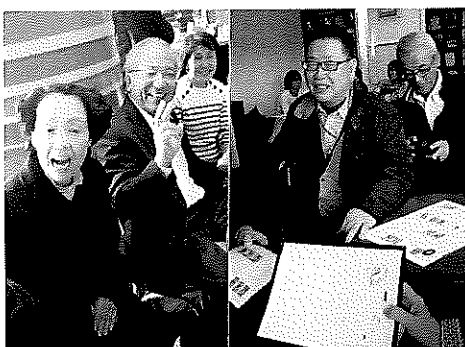
昭和三十九年に入学した私は、高等な体育を学んだと今思うところ。外園体育では100M走のタイムを知る、自分を見つめることができた、授業の初めにはただ単にトラックを自己から走れと、冬の寒いのにパツチを着用したら、ぬぎなさいと指導があった。体育館内では、そこにある器具等、全部を組合わせたての体力作りはつらかった

な！昼の労働で疲労した体にムチを与えるようでした。どかた。又、屋外では円盤投げ、砲丸投げ、槍投げ、走り高跳び等、これらも手に取り体験出来た、すべては後生の原点のように思っている。ふと、五六年前のことですが、今は朝のテレビ体操からスタートしています。先生ありがとうございました。

14期生 中村 棟治

15期

2年に一度同窓会を開催しています。



15期生の同窓会

今年暖かい冬でしたが、紅萌会の皆さまお元気で過ごして下さいますか？

15期生は、予定として2年に一度同窓会を開催しています。

前回は2018年11月25日(日)に天王寺の新宿ごちそう館にて、食事会、カラオケをしました。

今年も11月に開催する予定になつていきます。15期生の方は是非ご参加をお待ちしています。お身体に気を付けてお過ごしください。

15期生 山下 英子

16期 出席されてない方ぜひ出席して。

天定を卒業してもう五十年たちました。私達も皆七十歳以上になります。毎年ほとんど変わらない人達(十六期)が三、五人集まります。身内の介護や、自分たちの健康や孫、趣味、なつかしい学生時代の話など話すだけでも気が晴れたり、元気な顔が見れたり良い事もあります。まだ出席された事のない方は是非出席されてはいかがですか、会場でお会いしましょう。

16期生 林 美恵子



美章園駅ガード下の風景

19期 心のゆとりでまだまだできますー!

第二の人生

紅薊会の皆様お元気でしょうか。早いもので高校を卒業して40年以上たちます。紅薊会より原稿依頼を受け、昔を思い出しながら天王寺高校付近を歩いてみました。昔の面影がなく寂しさよ時の流れを痛感しました。退職して6年。今は娘・息子

家族のサポートをしながら、退職と同時に始めた卓球・エアロビ、昨年からピアノ(これは認知症予防)を習い始めました。高校時代以来初めてする運動で大丈夫かと不安でしたが、歳を忘れて練習し、汗をびっしょりかくと「まだまだできる!」との気持ちになります。

働いている時は、毎日時間に追われ忙しい生活を過ごしていましたが、今はお金はないけれど、生活のゆとりもあまりないけれど、心のゆとりができ小さな幸せを感じています。病院にも通院している私ですが、高齢社会に向かい夫婦仲良く助け合つて前向きに人生を歩んで行きたいと願っています。皆様もお元気で過ごして下さい。

19期生 柳楽 清子

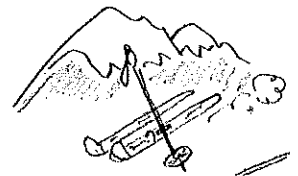
20期 雪とスキーと体育と。

思い出

天高で勉強した記憶は全くありません。仕事の都合で遅刻、欠席も多くいつも単位はギリギリで、特に体育はひどかったと思います。

三学期になつて進級も危ういとなつて補習(たしか卓球?)を受けましたがそれでも足りず、体育研究部のスキー講習会に参加したら単位がもらえる、と云うことで48年3月に戸狩スキー場へ行きました。それがきっかけでスキー大好きになり、職場の仲間ともあちこち行くようになりました。もちろん49年の体研のスキー、しなの平へも参加して帰りに美しい雪の善行寺に寄れたのも楽しい思い出です。

20期生 牧浦 晴美



21期 卒業してから45年目になります。

「卒業から45年後の同級生へ」21期生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

お元気で、それなりに歳を重ねて、薬を服用しながらも昭和・平成・令和の時代を見る事ができました。

10代から50代の方々と机を並べて学んだ日々。当時は眠くて辛くて心が折れそうなどもありましたが一緒に笑ったり励ましました。卒業が叶ったと思いがいながら卒業が叶ったと思いません。卒業式の皆様の晴々とした笑顔は今でも忘れられない思い出です。卒業までにお世話になった先生達にも本当に感謝です。改めてありがとうございます。

21期生の皆様(1975年・昭和50年3月卒業) 2020年は卒業してから45年目になります。この節目の年におひとりでも多くの同級生にお会いしたいです。毎年5月に紅薊会の集まりがあります。ぜひとも出席を思い出話に花を咲かせませぬか。

お会できるのを楽しみにしています。

21期生 野田さよ子



22期 欲に振り回されずに人生を活かして。

新型コロナウイルスによって、世界中に、これまでに想定しなかった不安、危機的状況が起きています。

大阪の南の中心地でも通行人が1-10になるほどになっています。

私も時差通勤で5・02始発で、16・00には退社するように(3月から)通告されました。

中国発のウイルスが地球のすみずみまでに拡散しています。手洗い、マスク、うがい、テレワーク、時差通勤に協力しながら、一日も早く、収束することを願うのみです。

一人一人が自立した考え、行動で（天定で学ばせてくれました）風評や、買溜めに走らず、落ち着いて、冷静に判断していければと思います。

人生100年時代を迎えています。

70才位で老後人生と思いきや、まだ現役の毎日があることに驚いています。

紅薊会の皆さん22期生の皆さんにおかれまして、先の事も大事ですが今日という一日一日を精一杯充実した時間となることが幸せなことかと思えます。大事な事に無関心にならず、人まかせにせず、注意深く物事を見て、足を動かして、欲に振り回されずに、残りの人生を活かしていこうと思う昨今です。

23期
同期生の皆さんは是非参加して。

23期生の皆さん、お元気に活躍のことと存じ上げます。

毎年、役員の皆さんのご努力によって、届く会報を楽しく拝読させて頂いております。ありがとうございます。また、本年も恒例の同窓会が近づいてきました。僕も

毎年ではありませんが、ほぼ毎年参加して楽しませて頂いております。

しかし、23期生のお顔を見られないことに淋しさを覚えます。僕は今年も参加します。皆さんも万事お繰り合わせの上、是非ともご参加下さい。楽しみにしています。

23期生 中村 一郎

24期
ラインで結ぶ
24期生で同期会。

昨年、卒業して41年ぶりに初めて同窓会総会に参加しました。

毎年、この時期に「紅薊会会報」で総会のご案内をいただいておりますが、同期生はだれも参加していないし、一人で参加するものもなく気が進まないでいました。それが、前号の会報のこの欄に同期の堀田（木谷）くんが書いていたとおり、

同期5人ほどで時々やっている飲み会で堀田くんが「今年のみんなで同窓会総会に行けへんか？」と持ち掛けてくれました。どうせ参加するのだつたらたくさん集めようということ連絡のとれる人に声をかけて24期生は7人が参加しました。当日は1年生の時の担任だった三上先生や久しぶりに会った同期生や

先輩の方々と楽しく過ごしました。

総会のあと、堀田くんがラインで24期生のグループを作ってくれています。ある程度メンバーが集まったなら、同期会をしようとう企画するそうです。これを読んでいる24期生の皆さん、ラインのグループにぜひ参加してください。また、今年の総会にはみんな参加しましょう！！

堀田くんのLineのIDは
8210968
です。
また、携帯メールは
yoshi006@i.softbank.jp
です。

24期生 寺田伊佐緒

27期
同窓会をきっかけにあつまろう。

27期生の皆様、お元気でしょうか。今年も同窓会の時期となりました。私は毎年ではありませんが、出来るだけ参加させていたでいます。何人の同級生に会えるかなと思いつながら参加しています。同窓会がきっかけで会う機会が増えました。連絡を取り合い、輪が広がります。連絡の取れる同級生がお知らせしました是非、お誘い合わせてご参加下さい。お会い出来る

ことを楽しみにしています。

33期
またお会いできる日を
楽しみに。

33期生の皆様お元気でいらっしゃいますか、月日の経つのは早いもので、卒業後もう32年位経つのですね。ビックリです。仲々皆様とお会いできないのが残念です。私はまだ病院に勤めています。車窓から季節の美しさを感じながらの車通勤です。今、一面に黄色の菜の花が咲き「きれーい」と声を出しながら運転しています。今年には子供の高校入試なので、きちんと勉強しているか等の子育て、家事、仕事とバタバタの毎日です。今は新型コロナウイルスで世の中、大変な事になっていますね。一日も早く感染状態が落ち着き、新薬ができるのを祈るばかりです。私の周辺では発生していませんが安心はできません。自己管理に充分気を付けています。卒業後10年目に皆様とお会いして楽しい一時を過ごしました。が、又お会いしたいですね。では、33期生の皆様お元気で、又、お会いできる日を楽しみにしています。

33期生 松島 澄子

編集後記

まさか私が紅薊会の会報を編集する事になるとは、昨年の初頭には思いもつきませんでした。

同窓会総会自体にも一度も参加しておらず、同期会は20期の方々の思いやりで2度程、参加させて頂いた程度だったので、紅薊会総会の規模、開催場所、参加人数等全く関心もなく平和？な日々を過ごしてしまいましたが、中村善人副会長の「わな」(笑)にハマってしまい、広報担当をお受けする事になった次第です。それはともかく、なった限りは全力でやり遂げよう、微力ながら頑張っていこうと今後いつまで出来るか判りませんが、会報作りや、HPの編集、管理などを自分なりに楽しくやっついこうと思っております。ということで、紅薊会会員の皆様には、小玉氏(19期)共々優しく見守って頂けたらなと。

今迄、幹事の方々のご苦労は筆舌に尽くし難く本当に長い間、会誌の編集に携わって大変な努力と時間を費やされた事と思えます。また長年会報の印刷を担って頂きました、(株)あゆみ印刷デザインさんの功績に感謝の意を込めまして編集後記といたします。

22期 山本

<https://www.kohoukai.info>

〔紅萌会〕 令和2年度会計予算(案)

項目	(単位円) 金額
収入	
前期からの繰越残高	421,147
年会費・総会参加費・寄付	528,850
総会当日参加費・会費・寄付	60,000
雑収	3
合計	1,010,000
支出	
総会会報等印刷代等	240,000
総会会報郵送料	120,000
総会経費	320,000
役員会議・作業経費	10,000
事務費	10,000
通信費	10,000
合計	710,000
収入	1,010,000
支出	710,000
合計	300,000

次年度予算に繰越

繰越 次年度繰越予定 300,000円

〔紅萌会〕 令和元年度会計決算報告

(令和2年2月29日現在)

項目	(単位円) 金額
収入	
前期からの繰越残高	627,062
年会費・総会参加費・寄付(振込)	643,120
総会当日参加費・会費・寄付	113,200
雑収入	4
合計	1,383,386
支出	
総会会報等印刷代等	391,280 ※
総会会報郵送料	126,684
総会経費	378,000
役員会議・作業経費	25,949
事務費	17,170
通信費	23,156
合計	962,239
収入	1,383,386
支出	962,239
合計	421,147

次年度予算に繰越

繰越金の管理状況

普通預金	369,092
現金	52,055

※HP開設費用+4月からのHP1年間管理費合計(¥150,000)が含まれています。

紅萌会 第65回 令和元年会費・寄付者リスト (敬称略 令和2年1月12日現在)

第65回総会 (名前に下線のある方は総会にご出席いただいた会員)

	今年度	昨年度	一昨年度
会報発送会員	1,392名	1,435名	1,546名
会費納入者	170名	165名	168名
寄付者	79名	76名	77名
総会出席者	63名	48名	39名
【特別会員】	岡 毅、東康太郎、田中秀穂、三上敦史、鈴木正夫、田中幸昭、佐山和子、今中敬旦、佐藤陽二、大重郁治、北森雅夫、大迫 均、山元良平、山元厚子、澤井 章 (15名)		
【1期生】	高橋孝弘、牛丸 剛、中島眞吉 (3名)		
【2期生】	埜村徳也、中川ヨシ子、大寺喜八郎、平野鈴江、片岡久子 (5名)		
【3期生】	吉田万弥、小林明美、安田寿夫、山口淳子 (4名)		
【4期生】	菅原 博、油谷勝次、坂元正義、藤原君子 (4名)		
【6期生】	赤川美津子、永田満江、岩崎みちよ、杏中清起子、寺田直三郎、梶原文明、佐々木紀代子、坂田一枝 (8名)		
【7期生】	森村不二子、古村成正、植田初世、尾崎充賢、朝陽高吉、若狭節子、賀代 修、田辺 宰至 (8名)		
【8期生】	浜野弘美、池本友子、佐柳正吉 (3名)		
【9期生】	赤松泰雄、幸野陸紀、久山多代子 (3名)		
【10期生】	中村俊之、山上王世、吉岡啓子、伊藤清美、丸木金勝、松原智子、千田耕作、河野和枝、巴本 稔 (9名)		
【11期生】	島袋征士 (1名)		
【12期生】	西村唯弘、阿部 博、蒲原千鶴子 (3名)		
【13期生】	三井郁子、喜多俊子、品川博文、川上勝晴、大森一雄、岡田律子 (6名)		
【14期生】	岡田美代子、中村棟二、中村ひろみ、吉田雄二、吉田実千代、吉田千鶴子、木下美佐子、大江道子、西田正雄、岩佐勝巳、大部徳子、杉山可一、林二三男 (13名)		
【15期生】	前川 栄、江口 繁、岡本ひとみ (3名)		
【16期生】	脇 豊茂、林美恵子、森本登茂子、川村光子、矢田博道、吉本麻佐子、林 治夫、向井克信、向井万喜 (9名)		
【17期生】	北村みち子 (1名)		
【18期生】	大西吉雄、袖村順子、堀口文一郎、大西きみ子、吉田由紀子、坂本つよみ、芳中則子、細川正敏、谷田和恵、嶋田陽子、上門良子、中村善人、稲葉貞夫、岡崎しのぶ、仲西三枝子、清水賢二、小島悦子、浦崎信子、美馬信男、石村朱美、北村昭子、河本元宏 (22名)		
【19期生】	小玉 光、山坂成司、伊名岡百合子、米澤素子、大西昭生、柳楽清子 (6名)		
【20期生】	浅井いづみ、大西久美子 (2名)		
【21期生】	井藤一夫、馬場伊勢子、上村禎四郎、谷口妙子、野田さよ子、大塚真知子、福田ちどり、寺本順子 (8名)		
【22期生】	遠藤清茂、木村 勝、山本勝則、堀内年子、堀上礼子、澤田正和 (6名)		
【23期生】	中村一郎、和田幸生、山中末勝 (3名)		
【24期生】	堀田佳弘、道井美紀子、山口葉子、寺田伊佐緒、坂野正和、坂野正典 (6名)		
【25期生】	竹岡敦子 (1名)		
【26期生】	富川正英、北垣外かよ子 (2名)		
【27期生】	山崎恭子、大塚柳子、西崎正一、石本桂子、山下貴子、貴志京子、中村順子 (7名)		
【30期生】	中島成和 (1名)		
【32期生】	池崎照子、西岡 晃 (2名)		
【34期生】	森 満江 (1名)		
【41期生】	岡本君子、多田栄二、山下基信 (3名)		
【47期生】	廣澤大介 (1名)		
【52期生】	東 良次 (1名)		